

# みまっぱ通信

## みまさかだいかく 子育て情報

NO. 24  
2017.11.3 発行

みまさか子育てカレッジ実行委員会

秋祭りやハロウィンがおわり、  
冬の訪れが近くなってきました。

寒さが、日一日とまして、暖房  
器具がほしい季節です。



7月7日(金)は62組138  
人、  
10月6日(金)は天候の悪い  
中、  
50組127人参加がありました。



## お家で、ちょっとたいそう!! この絵本どうですか？



子どもたちの大好きなペンギンが  
ページをめくる毎に、かわいく体操  
をしています♪読みすすめながら、  
親子で一緒からだを動かしてくだ  
さい。

福音館書店のホームページには、  
体操の動画もあり➡るので、チェ  
ックしてみてください。



## 「子どもが見ているもの」

### 街中で赤ちゃんが目があったとき、 その赤ちゃんにじーっとこちらを見続け られるような経験はありませんか？

赤ちゃんは新生児期であっても、しっかりと物が見えています。ただし、その時期では彼らの視力は 0.03 くらい。これは 30~50cm ぐらいのものを良く認識できる程度です。実はこの距離は大人が乳児と目を合わせようとしたり、話しかけたりするときに取っている距離なのです。もちろん大人の多くは、赤ちゃんの視力を知りません。しかし、知らず知らずのうちに、赤ちゃんにとって一番見える距離に大人から近付いているのです。そして1歳ごろになると視力は 0.3 程度になり、多くのものをしっかりと見えるようになります。そんな子どもたちが最も好んで見るものは、人の顔のようなものであることが、古い実験で明らかになっています。特に目や口に視線がいくようです。人の顔に対して興味を持つことは対人知覚の基礎となり、それは赤ちゃんのうちから備わっているわけです。また、人の顔以外には、より情報量の多い刺激を乳児が積極的に選んでいることもわかっています。赤ちゃんはよく見えていないと思うかもしれませんが、彼らは、新生児のうちから、より多くの刺激を取り込もうと一生懸命見ているのです。このようにして、赤ちゃんは自分の世界を広げていくのです。



## ちょっと一言

### 「息子が教えてくれること」

今日は息子の話しを聴いてもらいたい。

息子は勉強が苦手で、嫌なことはしたくない。自分が好きなことだけをしたがる。

息子の好きなものに車（car）がある。車の本をよく読み、車のことは私たちよりもよく知っている。車に乗ってドライブをしている時など、前を走る車の名前をほぼ確実に言い当てる。そんな時の息子は私たちに対して勝ち誇った表情をみせる。

小さな時から車が好きで、今も近くで車の展示会などがあると自ら見に行き、その方面の勉強に限っては極めて熱心である。

車の名前を当てる時の息子を見ていて、私はあることに気付いた。息子は車の形を見る時に、車のリア（後ろ）の部分を見て名前を当てている。対向車（前）を見てもあまりピンとこない表情をしているのである。その時、私はハッとすることを出した。それは、息子がまだ幼い時によくしていた遊び方である。ミニカーを一列に並べ、自ら寝そべてその車の列を後ろ側からずっと飽きずに見続けるのを好んだことである。あの時から既に息子は、車の全体の形のなかでもリアの部分を好んで観察し、今もその視点は変わらずに持ち続けている、ということである。

しかし、である。人によってものの見方は違う。車をフロント（前）から見る人もいれば、横から見るのを好む人もいる。私の息子のようにリア（後ろ）から見るのを好む人がいるのは自然なことである。

自分と違うからといって特別視することはない。そんなことに気付かせてくれるのが私の息子である。

白状すると、実は息子の独特なものの見方、感じ方は、私のそれと非常によく似ている。先ほどの車をリア（後ろ）から見て記憶する所などは、私自身にも濃厚にある。私も車のデザインの良し悪しは、リア（後ろ）の部分だと思っている。そのような意味で最近では格好のいい車が少なくなったと思っており、息子も同感である。昔の車がいい。

親子とは、そんなものなのだろう。



# 親子で遊ぼう「タオルあそび」(ふれあいあそび)

ふれあいタイム(10:00~10:30)では、10月&11月連続してバスタオルを使って遊びたいと思います♪

ご家庭でも、お風呂上りやお休みの前など、ちょっとした時間に身近にあるタオルを使って遊びましょう。

子どもの年齢や発達、性格に合わせて、親子で楽しんでくださいね♪

## その1 かくれんぼ&いないいないばあ

親子で一緒にかくれたり、「いないいないばあ」とやり取りあそびをしたり、親が重石のように覆いかぶさったり、様々な感覚あそびをためして楽しみましょう♪



## その4 ふんわり風あそび

子どもにそっとタオルをかけ、「いないいないばあ」と言いながらタオルを持ち上げる。タオルを子どもさんの上でふんわり上下し風を感じて楽しむことも大喜びます☆



## その2 ひっぱいっこあそび①

赤ちゃんが、興味や好奇心をもって、手を伸ばしてつかむようになったらおススメです。少し大きくなれば、ぶら下がろうとします。



## その5 魔法のジュータンあそび①

子どもの表情を見ながら、タオルを引っ張り移動します。楽しめるように、スピードはゆっくりとスタートしてくださいね。



## ひっぱいっこあそび②

歩けるようになったら、親子で立って引っ張り合いもいいですね。親子で座って、ギタンボタンとお船のように前後にゆれてもOK!



## 魔法のジュータンあそび②

子どもは、両足を伸ばして座り、タオルをしっかり両手で握り、親は子どもの表情を見ながら引っ張ります。後ろに転倒しないように注意しましょう。



## その3 タオルボール遊び

タオルを2回ほど結んでボールのようにし、「はいどうぞ」「ありがとう」など言葉やしぐさのやり取りあそびをしたり、ボールを転がしてキャッチしたり、少し大きくなるとサッカーごっこも楽しめますね♪



## 魔法のジュータンあそび③

子どもが乗れるくらいにタオルを折り、子どもは両手を前に出してしゃがみ、おやは子どもの両手をもってゆっくり引っ張ります。



## その6 ゆらゆらハンモックあそび

子どもをタオルの中央に寝かせ(又は座らせ)、大人がタオルの両側を持ち、左右に揺らします。大波や小波など様々な揺れを楽しむ。



# 手作りおもちゃ紹介

子どもは、繰り返し遊ぶことに熱中しますね。  
メジャーを出したり入れたりすることも喜びます♪



追視

感触

操作

●メジャーの自動巻き取りが楽しい

## 引っ張ってするする

メジャーが、楽しいおもちゃに早変わり。  
子どもがイスやチョウを引っ張って、保育者が本体のボタンを押せば、  
イスはおうちに、チョウは花へとするする戻ります。



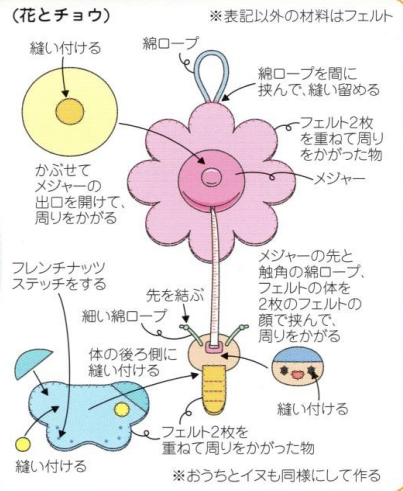
中心のボタンを押すと自動で巻き取るタイプの布製のメジャーを使います。引っ張るとカチャカチャと音がする物だと、より楽しいでしょう。



型紙 p.97

あそびプラス1 壁に掛けて飾って

壁面のフックなどに掛けておけば、お部屋のかわいい装飾にもなります。保育者がだっこして引っ張って見せると、なんだろうと手を伸ばします。



既製品で作るおもちゃ ● メジャー

『0.1. 2歳児手作りおもちゃ64』学研より



7月&10月もたのしかったね♪

おともだちやママと  
いないいないぼあ



どこまでもひっぱって～♪

ほくにもか～し～て♪



どこにコロコロい  
くのかな？



この窓から出せるかな？

しゅっぱ～つ！！



はじめてのおつかい？♪